



しののめYMCAこども園 園だより

2023年度 2月号

発行者:こども園園長 草分俊一

聖句 「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。
これがわたしの掟である。

2月聖句 喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。

ローマの信徒への手紙 12章 15節

三学期のスタートと共に寒波がやってきました。「子どもは風の子、元気な子」、薄着で登園する姿を見ると本当に子どもたちは強く元気だと思います。

今年一番の寒さと予報された1月11日、お餅つきの園行事を行いました。今年度のお餅の搗き手とこねは、ボランティアのお父さんたち、そして搗きあがったお餅を小分けにし「みたらし餅」と「きな粉餅」に美味しく変身をさせてくれたおひさま会役員のお母さんたちのお力で無事に終わることができました。子どもたちはお友達と協力し重い杵を持ち上げお餅を搗きました。まわりにいるお友達は「よいしょ！よいしょ！」と、大きな声で声援を送りました。お餅のお米がみんなの力と声と協力で美味しいお餅に変身しました。またお父さまたちの力強く、かっこよくお餅を搗く姿やこねる姿に、子どもたちは大きな声で声援を送り見とれていました。お米からお餅になる工程を全部見ていた子どもは、その変化に目を丸くして臼の中をずーと見ていました。降園時、お餅の味を聞くと、「美味しかった」「お代わりした」「もっと食べたい」「また食べたい」などなど、うれしい言葉をたくさん聞くことができました。初めてお餅つきの体験をした子どももいました。新しい経験、お友達との協同、声援、お父さんお母さんの協力・・・しののめYMCAこども園ならではの行事だと思います。私たち教職員のみでは力不足です。お父さんお母さんの「姿」と「力」があってこそ、この素晴らしい意味ある行事が成立することを常に感じております。

朝早くからこの冬一番の冷え込みの中、「子どもたちのために」、本当にありがとうございました。

『能登半島地震 YMCA 緊急支援募金 2024』へのご協力をお願いいたします

能登半島の地震・津波により被災された全ての方々へ心よりお見舞い申し上げます。

「石川県情報共有会議(主催:全国災害ボランティア支援団体ネットワーク)」では、多くの方が避難生活を強いられ、そこに十分な支援が届いていない状況が報告されました。また地震から数日が経過した現在も、被害状況の全ては明らかになっていないことから、今後、長期的な支援が必要となることは確実と思われます。こうした現状を踏まえてYMCAは、これまで取り組んできた災害支援活動の経験やノウハウをもとに避難所運営サポート、災害ボランティア運営サポート、被災者のリフレッシュなど、被災された方や支援者の心身の安全を最優先にした支援活動を展開していく予定で準備をしています。

三学期も保護者の方々と共により豊かな日々を過したく願います。

宜しく願い申し上げます。

園長 草分 俊一